

別記様式第 4 号

平成 第 年 月 号
日

岐阜県知事 様

農林事務所長

県単希少生物保全検証事業実施申請書

下記地区において、県単希少生物保全検証事業を実施したいので、県単希少生物保全検証事業実施要領第 6 条第 1 項の規定に基づき、下記資料を添えて申請します。

記

- 1 地区名
- 2 県単希少生物保全検証事業の事業計画書（別記様式 6）

別記様式第5号

平成 第 年 月 号
日

農林事務所長 様

岐阜県知事

県単希少生物保全検証事業実施決定通知書

平成 年 月 日付け 第 号で申請のあった下記地区について、実施地区として決定したので通知します。

記

1 地区名

別記様式第 6 号

県単希少生物保全検証事業 事業計画書

実施区分	地区名	関係市町村	事業費
保全検証			千円
保全検討			千円
計			千円

1 保全検証

対象地区	基盤整備事業名		関係市町村	
	地区名		事業工期	~
	受益面積	h a		
検証等の内容	対象生物種			

2 保全検討

対象地区	基盤整備事業名		関係市町村	
	地区名		事業工期	~
	受益面積	h a		
	対象生物種			
	生態系の保全に配慮した施設の概要（施設名・構造等）			施設施工の年度
				~
検討等の内容				

別記様式第 6 号

事業名	
-----	--

地区名	
-----	--

生態系保全工法の概要

工種

対象生物 :

設計金額 :

工法・意図等

< 工法図 >

< 現況写真 >

* 保全検討のうち整備補修については実施後のイ-ジ 図(断面図等)も添付のこと。
* 実施区分毎に積算根拠を添付すること。また、まちづくり協議会等地元組織との連携活動については別紙 1 を提出のこと。

別紙 1

まちづくり協議会等地元組織との連携活動実施計画書

実施予定期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月		
参加対象者	市、協議会、大学教授、農林事務所		
参加予定人数	20名		
事業費			
節	金額	算出基礎	
	(円)		
報償費	20,000	講師謝礼金	@10,000 × 1名 × 2回
旅費	4,000	講師旅費	@ 2,000 × 1名 × 2回
消耗品費	6,000	紙・コピー代	
会議費	6,000	お茶代	@150 × 20名 × 2回
役務費	4,000	切手・封筒代	
合計	40,000		
活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査結果から、採用した環境配慮工法について点検・評価を行う。 ・地域の環境、保全対象種に対する理解を深めるために、環境学習会を開催する。 			

別紙 1

まちづくり協議会等地元組織との連携活動実施計画書

実施予定期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月	
参加対象者		
参加予定人数		
事業費		
節	金額 (円)	算出基礎
活動内容		

別記様式第7号

平成 第 年 月 日

岐阜県知事 様

農林事務所長

県単希少生物保全検証事業実施報告書

県単希少生物保全検証事業実施要領第7条の規定により、下記のとおり本年度の事業実施状況について報告します。

記

別添のとおり

実施区分	地区名	関係市町村	事業費
保全検証			千円
保全検討			千円
計			千円

*支出証拠書類を添付すること

1 保全検証

基盤整備事業名		関係市町村	
地区名			
対象生物種			
検証等の内容と成果の概要			
今後の課題及び留意事項			

2 保全検討

基盤整備事業名		関係市町村	
地区名			
対象生物種			
生態系の保全に配慮した施設の概要（施設名・構造等）		施設の施工年度	
検討等の内容と成果の概要			
<p>* 別紙2及び構造等がわかる資料（図面・写真等）を添付すること。 * 検討会の提言を受けた簡易な整備をした場合は、その内容がわかる資料を添付すること</p>			
今後の課題及び留意事項			

別紙 2

まちづくり協議会等地元組織との連携活動実施報告書

実施年月日	平成 年 月 日、平成 年 月 日		
参加対象者	農林事務所、市、協議会、大学教授		
参加人数	20名		
事業費			
節別	金額	算出基礎	
	(円)		
報償費	20,000	講師謝礼金	@10,000 × 1名 × 2回
旅費	4,000	講師旅費	@ 2,000 × 1名 × 2回
消耗品費	6,000	紙・コピー代	
会議費	6,000	お茶代	@150 × 20名 × 2回
役務費	4,000	切手・封筒代	
合計	40,000		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査結果から、採用した環境配慮工法について点検・評価を行い、水路～水田間の小動物の移動を助けるため、間伐材による昇降路をつけるべきとの助言を受けた。 ・地域の環境、保全対象種に対する理解を深めるため、環境学習会を開催し、今後の生態系の動向について独自に継続調査していく方針を固めた。 		

別紙 2

まちづくり協議会等地元組織との連携活動実施報告書

実施年月日	平成 年 月 日	
参加対象者		
参加人数		
事業費		
節別	金額	算出基礎
	(円)	
活動内容		

* 「保全検証」(モニタリング調査)について、業務委託を行わない場合、下記様式を参考とする。

希少生物保全検証事業 **工種・配慮事項別** モニタリング調査票

地区(岐阜県 市)

環境配慮事項別・工種別毎に様式を記入する。(工法が複数ある場合は、必要に応じその工法毎に様式を作成)

工種別	区画整理・農道工・用水路・排水路・用排兼用水路・暗渠排水工								
配慮事項区分	工		施工年度						
農業地域類型	都市的	平地農業	中間農業	山間農業	地形勾配(主傾斜) 1/***				
事業による影響									
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由									
保全対象生物の生活史等からみた配慮事項									
配慮施設の構造等 を検討する際に留 意した事項									
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項									
環境配慮の5原則 区分	修正	回避	最小化	軽減・消失	代償				
配慮施設の構造		施設の設計条件等							
施設の名称	用水期間		代掻き期	*月**日~*月**日					
個所数 延長			普通期	*月**日~*月**日					
			非かんがい期	*月**日~*月**日					
主要構造 土水路 二面張り水路 三面張り水路 その他() ・コンクリート柵渠(2方張) ・多自然型張りブロック	配慮施設の非かんがい期の 水の有無、確保状況		有・無						
	水	用水路 (cm)	用水路 (m/s)	用水路 (m ³ /s)					
		代掻き期	**	代掻き期	*.**	代掻き期	*.**		
		普通期	**	普通期	*.**	普通期	*.**		
	深	非かんがい期	**	流	非かんがい期	*.**	流	非かんがい期	*.**
		排水路 (cm)		排水路 (m/s)	排水路 (m ³ /s)				
1/2)		**	速	1/2)	*.**	量	1/2)	*.**	
護岸	左岸:*** 右岸:*** その他()	1/10)	**	1/10)	*.**	1/10)	*.**		
		非かんがい期	**	非かんがい期	*.**	非かんがい期	*.**		
底	土砂 コンクリート 石 その他()	水路勾配	1/***	護岸勾配	左岸1:***	右岸1:***			
		土羽勾配		左岸1:***	右岸1:***				
二次製品の 使用	有・無								
		水路断面等緒元 (単位:mm)							

生態系保全工法の構造図等、写真

断 面 構 造 図 等

写真タイトル：

工

解説：

施設の様子がわかるような構造図・写真を貼付すること
検討会の提言による簡易な整備を行った場合は整備前後がわかるような記載をすること

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献

決定根拠等 (水路幅、落差高、勾配、流速、水深等を決定した理由、根拠を記入)	参考文献(引用、出典)

モニタリング

調査時期	調査対象	時期	回数	方法	施設の状況(土砂堆積、水草の有無)
事業計画時					-----
事業実施中					
事業実施後					

工事中の一時的避難	避難の有無 有・無	対 象 生 物
-----------	--------------	---------

モニタリング結果概要	事業計画時	
	事業実施中	
	事業実施後	* 主に保全対象種について、確認種数、確認数量を記入。 * 様式にこだわらず、できる限り詳細に写真等も添付して記録することが望ましい

モニタリング結果からの評価	* 施設の効果、利点あるいは問題点、改善点を詳しく記載する。
---------------	--------------------------------

事業計画時・事業実施中事業実施後の各欄については、調査内容に応じ適宜増減すること